

今回私たちは、地方自治に関連する実際の活動について、個人でテーマを設定し調べた。普段からどのような活動が地方自治としての活動なのか。考えている人はそんなに数多くないだろう。

しかし今回地方自治に関するレポートを作成するにあたり、授業内で身近な地方自治は何なのか、それぞれの地元しか行っていない地方自治は何かないかということについても話し合いを重ねることができた。

授業内の話し合いを経て、私たち班員が設定したテーマは以下の通りである。

- (1) 歴史的建造物の再建と観光事業・福島県会津若松市 ～鶴ヶ城再建を例に～
- (2) 「世界遺産登録は正義か」
- (3) 私たちと条例―栃木県の条例と私生活との関わり―
- (4) 観光資源としてのフェアトレードタウン・宇都宮市内の動きを通して・
- (5) 田舎の誘致―秋田県仙北市を例に―
- (6) 地域のボランティア活動と地域発展の連携 ―太原市国際マラソン大会例

現在日本は、外国人観光客の数が増加しつつある。実際に、日本を訪れる外国人は、日本の商品や街並み、食など、様々なものに魅力を感じているようだ。さらに、2020年に東京でオリンピックの開催が決まり、日本の注目度はますます高まるであろう。それに伴い、今後も日本を訪れる外国人はさらに増えていくのではないだろうか。

そこで各自のテーマでは、私たちが暮らす日本では、地方自治によりどのようなことが行われ、私たちの暮らしを支えたり、アピールしたりすることに繋がっているのか。また地方自治から見えてくることをそれぞれ述べてみた。

私たちグループでは、以上のようなことについて各自のテーマを通し、調べた結果や意見等をまとめていこうと思う。